

第6学年学級活動指導案

日 時 平成15年11月27日(木) 5校時
児 童 6年1組男子17名女子11名 28名
授業者 林 博文

1 題材名 「2学期まとめの会」を開こう

2 題材について

2学期、子ども達は「学級祭り」や「学習発表会」などの大きな行事を経験し、いよいよ卒業を意識し始めるようになってきたようである。12月には学級のまとめの集会として「2学期まとめの会」に取り組むことにより、卒業に向けての仲間意識や学級集団としてのまとまりを高め、自治的な力のさらなる向上を図ることを意識した働きかけをしていきたいと考えこの題材を設定した。

これまで、7月には挨拶運動のめあて達成のお楽しみ会、続いて9月には「学級祭り」と称して、スポーツ行事とお楽しみ会のダブルイベントを楽しく開催してきた。これらの学級の集会活動では最高学年という発達段階から、全て計画委員会の子ども達が計画、話し合い、実施まで責任を持って準備を重ね、その結果、子どもたちに自治的・自発的な実践力が身に付いてきた。本題材についても計画委員会を中心に組み立ててきている。

児童は、明るく素直で比較的発言することに抵抗がなく、自分の意見や考えを発表することのできる子が多いので、話し合い活動や普段の学習中の発表の場では多くの意見が飛び交う。また、今まで行事や月目標などの取り組みにも協力して取り組むことのできるよさがある。その反面、多くの意見が出ている中で発言の少ない子、できない子の存在があることも事実であり、大勢の前で発言する事かなりの抵抗を感じている子もいる。国語や話し合いの授業となると、学び合いや深め合いに意欲的な女子が学習をリードしながら進めてきたが、学級活動における話し合いに関しては2学期まで教師の指導と支援により進め方を学び続けてきたという現状である。

今回の話し合い活動は「2学期まとめの会」の内容である「料理(おやつ作り)」、「お楽しみ会」、「スポーツ」の具体的な内容を考えることである。おやつ作りについては初めての取り組みであるので時間や内容について担任も配慮しながら子ども達に考えさせていきたい。

本時では「2学期まとめの会」の内容のうち、「お楽しみ会」と「スポーツ」について、その方法や役割分担などを話し合っていく予定である。学級全員の関心が高い内容であるので、数多くの発表の練り合いからよりよい意見へと収束させていきたい。

児童への支援としては、話し合いにおける役割分担や話し合いに向けての準備などを朝自習や昼休み時間を利用して進めていくものとし、本時で発言ができない子ども達に対してはペアやグループで話し合い活動をするように支援したり、活動計画全体を通して題材のねらいに迫ったりできるように配慮をしていきたい。

3 題材の目標

- (1) 「2学期まとめの会」が楽しい会になるように、目的を持って話し合い活動に参加する。
- (2) 「2学期まとめの会」について考え、一連の取り組みを経験することにより「学級の一員」であることを自覚するとともに、学級の結びつきを一層強めることができる。

4 題材の主な評価規準

観 点	評 価 規 準	評価方法
関心・意欲 態度	・学級生活をよりよくするために、自分たちで議題を話し合おうと、進んで話し合いに参加しようとしている。	議題提案 カード
思考・判断	・話し合いの中で予想される問題の対応を検討し、進行の計画を考えている。	発表 行動観察
技能・表現	・「2学期まとめの会」が楽しい会になるように、話し合いの柱に従って建設的な意見を出すことができる。 ・「まとめの会」の内容に合わせて組織を考え、友達と協力して楽しい集会にすることができる。	発表 行動観察
知識・理解	・「まとめの会」を組織的に運営していくための計画委員会の役割やよりよい解決の仕方を理解している。 ・議題選定の観点を決めて、学級全体で選定する仕方や手順がわかる。	行動観察 発表 行動観察

5 活動計画

	活動過程	活動内容	期日	評価規準【観点】 [方法]
事前 活動	1 議題の収集	・議題ポストから候補議題を選ぶ。	11.10 帰りの会	・学級生活をよりよくするために話し合おうと進んでいる。 【関心・意欲・態度】 【議題提案カード】
	2 議題の選定	・学級のみみんなが楽しめる議題を選ぶ。	11.10 放課後	・議題選定の観点を決めて、学級全体で選定する仕方や手順がわかる。 【知識・理解】 【発表、行動観察】
	3 議題の決定	・「2学期まとめの会」をしようとする。簡単なアンケートを実施する。	11.12 帰りの会	・「まとめの会」を組織的に運営する役割やよりよい解決策を探している。 【知識・理解】 【発表、行動観察】
	4 話し合いの計画を立てる	・「2学期まとめの会」の内容を検討する。話し合いの役割分担をアンケートから原案を作成する。	11.12 昼休み・放課後	・話し合いの中で予想される質問の対応を検討し、進捗の進捗を考慮している。 【思考・判断】 【発表、行動観察】
	5 話し合いの項目を知らせる	・話し合い内容を掲示する。 ・原案を提示する。	11.25 朝の会	・活動計画について、みんなに知らせ、関心を高めることができる。 【技能・表現】 [行動観察]
	6 自分の意見を持つ。	・話し合いの内容に関心を持って、自分の意見を学級活動メモに書く。	11.25 帰りの会	・議題に対して自分の意見を持って表現することができる。 【技能・表現】 【学級活動メモ】
本時	7 話し合い①	・「2学期まとめの会」の計画を立てよう。 「おやつ作り」	11.26 5校時	・「2学期まとめの会」が楽しい会になるように、話し合いの柱に従って建設的な意見を出すことができる。 【技能・表現】 【発表・行動観察】
	話し合い②	・内容についての細かいルールや役割分担を決めよう。 「お楽しみ会」 「スポーツ」	11.27 5校時	
事後 活動	8 準備	・係で必要なものを準備する。 ・個やグループの役割をはっきりさせる。	12.1 ～ 12.5	・「まとめの会」の内容に合わせた組織を考え、友達と協力して楽しめる集会にする。 ・自分のよさや友達のよさを生かそうと考えている。 【技能・表現】 [行動観察]
	9 実践	・「2学期まとめの会」 「おやつ作り」「お楽しみ会」「スポーツ」	12.8 ～ 12.19	
	10 確かめと反省	・一連の「2学期まとめの会」を振り返って、作文を書く。	12.22 国語 作文 学習	

6 本時の活動
(1) 目標

関心・意欲・態度	○自分の考えを学級活動メモに記入することができる。
思考・判断	○話し合いの柱にしたがってよさを見つけ、より望ましいのはどれかを一人一人が考え、判断することができる。
技能・表現	◎「2学期まとめの会」が楽しい会になるように、話し合いの柱に従って建設的な意見を出すことができる。
知識・理解	○話し合い活動を通して、一人一人が自分の役割について理解することができる。

(2) 展開

	児童の活動	教師の指導・支援	評価の観点
出し合い	1 開会 2 歌 「ドレミの歌」 3 係の紹介 4 議題の確認 5 話し合いのめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「2学期まとめの会」がすばらしい会になるように進んで意見を出そう。 </div> 6 提案理由の説明	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動メモに事前に記入させ全員が意見を持って話し合いに臨めるようにする。 今まで成功してきた「お楽しみ会」「学級祭り」を振り返らせ、話し合いへの意欲化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを学級活動メモに記入できているか。 [学級活動メモ・観察] 【関心・意欲・態度】
学び合い	7 話し合い (1) 出し合い <ul style="list-style-type: none"> 計画委員会から提案する。 ①お楽しみ会 ②スポーツ それぞれの内容や役割分担について <ul style="list-style-type: none"> 提案に対し、質問する。 (2) 比べ合い <ul style="list-style-type: none"> 提案に対して意見や感想を出して比べ合う。 (3) 深め合い <ul style="list-style-type: none"> 「2学期まとめの会」のねらいに即して自分の考えを修正、発展させ集団解決する。 ①お楽しみ会の内容、グループ分け、係分担、 ②スポーツのメニュー、グループ分け、係分担 (4) まとめ合い <ul style="list-style-type: none"> 可能な限り、学級の考えが一つになるようにまとめ合う。 8 決まったことの確認	<ul style="list-style-type: none"> 議長に事前に進め方を確認しておく。 理由を述べながら意見を発表させる。 議題にそれないように随時、助言する。 自信を持って言えない児童が多い場合は、ペアやグループで意見を交換させてから発表させる。 活動のねらいにあつた意見を集団解決させるようにする。 時間、楽しさ、全員参加、必要な係を作るなどの条件に合った会になるよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「2学期まとめの会」が楽しい会になるように、話し合いの柱に従って建設的な意見を出しできたか。 [行動観察・発表] 【技能・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの柱にしたがってよさを見つけ、より望ましいのはどれかを一人一人が考え、判断することができたか。[行動観察] 【思考・判断】
認め合い	9 反省・感想(カード) 10 (先生の話) <ul style="list-style-type: none"> 実践への見通しと頑張った様子、計画委員会への称賛、これからの課題などに触れる。 11 閉会	<ul style="list-style-type: none"> 発表を通じて、お互いのよさを認め合えるようにさせる。 話し合いの内容、係の役割などについて称賛し、今後の係活動の励みにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動を通して、一人一人が自分の役割について理解することができたか。 [活動メモ] 【知識・理解】

(3) 評価

評価規準 【観点】 [方法]	判断基準		手立て
	十分満足	おおむね満足	
<p>・「2学期まとめの会」が楽しい会になるように、話し合いの柱に従って建設的な意見を出すことができたか。 (技能・表現)</p> <p>[行動観察・発表]</p>	<p>・「2学期まとめの会」が楽しい会になるように、話し合いの柱に従って相手の発表を聞きながら積極的に建設的な意見を出すことができる。</p>	<p>・「2学期まとめの会」が楽しい会になるように、話し合いの柱に従って学級活動メモを生かしながら自分の意見を出すことができる。</p>	<p>・積極的に発言できない子どもには、ペアやグループで話し合い活動をするように支援する。</p>